

内牧南公民館の 自治会活動の予約について



阿部 雅一
議員



内牧南公民館は、内牧公園へ続くサイクリング道路と近く、小学生を対象とした蝶の観察会など自然の生態を肌で感じながら、自然を楽しめる活動の拠点として使用されています。1階の広いスペースは、地元の自治会や産直の里内牧協議会の総会など大人数が集える会場としても使用されています。そのように、広く地元へ愛用されている内牧南公民館ですが、予約方法の問い合わせがありました。

また、自治会活動など公共性の高い活動については、使用料免除の要望もありますが、内牧南公民館の予約システムについて伺います。

○社会教育部長

全ての公民館の予約は、使用月の3か月前の1日から抽せん申し込みが可能となっています。その後、使用月の3か月前の15日にコンピュータによる抽せんを行い、同日

から抽せん結果の公開を行っています。特例として、各自治会の各種会議などで使用する場合、使用申請事前受付依頼書を提出していただき、通常の申請時期では間に合わない理由が相当である場合は、申込み受け付け開始が3か月前の部屋について、4か月前の1日から申込み受け付けを行っています。各公民館の使用料の免除は、今後調査研究していきます。

このほか

○北春日部周辺のまちづくりについて

○生成AIの活用について



市の責任で、学童保育の 充実に「春日部市こども・若者計画」の研修の実施を



今尾 安徳
議員



市内の学童保育において、不適切な保育と思われる事案が発生し、保護者が気づいた中で、支援員や指定管理者とも話し合い、一定の解決をしました。「春日部市こども・若者計画」の基本理念では、全てのこども・若者の権利が守られ、それぞれの幸せを思い描くことができる、そしてかなえることができるまちの実現、とうたわれています。

そこで、市の責任において、こども・若者計画の理念推進のために、学童保育を皮切りに研修の実施を行っていくべきと考えます。市の考えと、市長の見解・決意をお聞きます。

○こども未来部長

現場の職員が、こどもの権利条約を理解し、こどもの意見を最優先に考えたクラブ運営ができるよう指定管理者と連携して取り組んでいきます。今後は、指定管理者の事務

局に本市の計画の内容を説明し、現場で働く職員への周知を積極的に行うと考えています。

○市長

春日部市こども・若者計画では、常にこども・若者の最善の利益を第一に考え、その人格と個性が尊重され、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利が守られる社会の実現を目指しています。市として、こどもの権利と健全な成長を支える取り組みを継続し、こどもの主体性を尊重しながら、安心して成長できる環境の創出に引き続き取り組んでいきます。

国の経済対策の 対応について



吉田 稔
議員



国は物価高対策として総合経済対策を決定し、2兆円の補正予算を追加しました。その結果、令和5年度・6年度に続き3度目の臨時交付金が交付される見通しとなりました。そこで、取り組んでいきたい3つの事業（①プレミアム商品券②住宅リフォ

ーム助成制度③生産者支援）の過去の効果を伺います。

また、いつ頃各種メニューの対応が可能か伺います。

○環境経済部長

①一定期間に集中的な消費が生まれ、市内経済の活性化につながったものと考えています。特に社会経済が低迷する時期に実施した際は、大きな影響を受けた市内事業者への支援、市民生活を下支えする施策として十分な効果があったものと認識しています。

③社会情勢の変化や、肥料や資材などの価格高騰により農業経営に影響が大きかった経費に対して支援をしたことで、農業者支援の一助になったものと認識しています。

○都市整備部長

②予算額の約16倍である約2億900万円のリフォームが実施され、経済波及効果があつたものと認識しています。

○市長

国の補正予算成立前のため、詳細は示されていませんが、物価高の影響を受けている市民、事業者の皆さまを早急に支援していきたいと考えているところです。

このほか

○空き家対策について

ウォーキングによる 健康増進について



大里 昇
議員



高齢化の進行に伴うフレイルの増加、運動する時間が少ない働き世代の運動不足など健康に関する課題が多く、将来の介護リスク上昇、生活習慣病増加、また医療費や介護費の増加につながっていくと思います。これらの課題に身体機能維持や生活習慣病の予防、さらに気分転換、地域コミュニティにもつながるウォーキングが注目されています。

○健康保険部長

そこで本市では健康づくりの一環としてウォーキングをどのように捉え、位置付けているのか伺います。

適度なウォーキングは、身体への負担が少なく、精神面でハードルが低い運動であることから、幅広い年代にお勧めしている健康づくり事業です。ウォーキングがもたらす効果としては、長時間継続して歩くことで有酸素運動にもなり、体脂肪の減少による肥

満解消や血中の中性脂肪の減少、血圧や血糖値の改善など、生活習慣病の予防や改善が期待できるものです。

さらに、運動量を維持することで、筋力維持、心肺機能の改善や骨粗しょう症の予防、メンタルヘルスを考える上で効果も見込まれています。

こうしたことから、本市では市民の皆さまの健康増進・維持していく上で力を入れていく取り組みであり、積極的に推奨しているところです。

このほか

○火災発生後における対応について

小・中学校および 市民体育館の 老朽化について



河井 美久
議員



本市の学校は、昭和40年代からの児童・生徒急増期に整備されたものが多く、校舎などの老朽化が深刻な課題となっており、児童・生徒の安心・安全を最優先に、老朽化の対策を計画的に進めると同時に、日常の維持管理を的確に行っていくことが不可欠と

考えています。

また、市民体育館も同様に建物の老朽化が進んでおり、あと何年くらい利用できるのかと思うところがあります。

そこで、以下伺います。

①小・中学校の老朽化の対策について。②市民体育館の修繕や工事などについて。

○学校教育部長

①春日部市学校施設長寿命化計画に基づき、校舎トイレ改修工事のほか、市民も避難所として利用するため、体育館のトイレ改修工事や空調設置工事などを行っています。併せて、葛飾中学校では長寿命化改修であるリノベーション工事を行っています。

○社会教育部長

②市民体育館は、旧耐震基準で建てられた建物のため、平成22年に地震対策として耐震補強工事を実施しています。また、この耐震補強工事に併せて、体育館内の壁の塗装や屋根の塗装、トイレの洋式化やシャワー室の改修などを行っています。

このほか、照明器具の改修や窓の改修、昨年度は、アリーナ床面のささくれの補修と床全面の塗り直し、電気設備の更新を行っています。

本市における英語教育の 取り組みについて



伊藤 一洋
議員



本年度、教育環境委員会の行政視察において知見を深めた、兵庫県小野市が行っている独自の漢字、計算、英語ドリルを用いた「おの検定」(東北大学の川島教授と連携して作成したもの)や私の息子が小学校低学年の頃(約20年前)に広まっていた百マス計算や漢字を徹底して行う陰山メソッドなど、各自自治体によって学力向上に関するさまざまな取り組みがあります。

本市でも「春日部メソッド」という独自のものがあります。が、小野市の「おの検定」のように市内で統一して行うものなのか。「春日部メソッド」の概要をお伺いします。

○学務指導担当部長

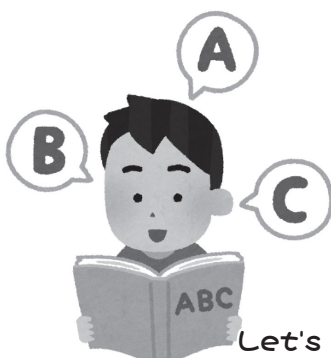
「春日部メソッド」とは、本市の学校教育プランである「かすかべっ子 はぐくみプラン」の中で本市の学校教育を支える屋台骨として位置付けているものです。そのため、

市内の小・中・義務教育学校で統一して行っている取り組みはありません。本市の目指す学びの姿を表したものが、この「春日部メソッド」です。

これは指導課の学校教育専門員が市内各学校を訪問して得た授業実践や特色ある教育活動から、目指す学びの姿をまとめたもので、現行の学習指導要領に示されている主体的・対話的で深い学びの姿を本市が先駆けて取り組んできたものと捉えています。

このほか

○本市における職員の採用について



健康で文化的な 生活を保障する 生活保護行政を



並木 敏恵
議員

6月に生活保護の基準引き下げが違法とする最高裁の判決が出されました。憲法に保障された誰もが健康で文化的な生活を営む権利が守られる生活保護行政を願っています。生活保護を受けたいと思ひ、市役所に行ったが申請できなかったという声が聞かれます。生活に困った時、生活保護を申請することは国民の権利ですから、権利を侵害するような言動は慎むべきです。

そこで、以下伺います。

- ①手持ちの現金や預金がいくらになれば生活保護の申請ができるのか。
- ②生活保護決定までの間の生活費に困窮する方に、保護費を前払いすることとはできないのか。
- ③生活保護申請中は保険証や資格確認書を市で預かっているが、その間、医療を受けられなくなるのでやめるべきではないか。

○福祉部長

①生活保護の申請は国民の権



生活に困窮する様子（イメージ）

利とされており、手持ちの現金や預金額に関わらず申請することが出来ます。②保護費の受給は、生活保護の開始が決定されてから初めて生じることから、生活保護の決定前に保護費を前払うことはできません。③現在では、マイナンバーカードによる資格確認を行える環境も整っていることから、県や他の福祉事務所の対応も参考としながら、対応方法の見直しを図っていきたいと考えています。

このほか

○小中学校給食費無償化の決断を直ちに

マイナンバー カードについて



金子 進
議員

マイナンバーカードは本人確認書類として始まりましたが、現在は健康保険証や運転免許証として、また、コンビニで住民票の写しなど各種証明書の取得に利用することになり、大変重要なカードとなっています。

そこで、以下伺います。

- ①マイナンバーカードの保有枚数と保有枚数率について。
- ②高齢者などで市役所に来庁できない場合のマイナンバーカードの電子証明書の更新手続きについて。
- ③万が一紛失してしまった場合の対応について。

○市民生活部長

①国が公表している令和7年10月末時点では、保有枚数は17万9588枚、保有枚数率は78.2%となっています。②本人が来庁できない場合は、代理人による手続きが可能です。なお、申請後は、本人に代わり職員が電子証明書の更

新を行います。その後、代理人にお返しすることで、即日、電子証明書の更新を行うことができるものです。

③マイナンバー総合フリーダイヤルに連絡してもらい、カードの一時停止手続きを行ってもらいます。その後、警察に遺失届、あるいは盗難届を提出してもらいます。

マイナンバーカードの再発行を希望される場合は、新たなマイナンバーカードの交付申請を行ってもらうことになります。

このほか

○空き家対策について

地域公共交通活性化の 方針に基づき デマンド交通の検討を



大野とし子
議員

週に一度運動している人より、運動はしないが社会参加している人の方が健康寿命が長いことが高齢者総合研究機構の研究で証明されました。

人と関わることで認知症予防などにつながるのです。健康寿命の研究が進む中、国土交通省も令和2年に「地域公

共交通の活性化及び再生の推進に関する基本方針」を策定し、「地域公共交通の利用促進による外出機会の増加は地域住民の健康増進に寄与する」としました。移動手段は、誰もが自分らしく生きることが保障する人権なのです。

国は、地域の特性に応じて、コミュニティバス、デマンド交通など多様な交通手段を組み合わせて、地域の交通を確保することが重要と提言しています。

広大な農村部を持つ春日部の地域性を考えれば、どこに住んでいても必要に応じて利用できるデマンド交通の導入は重要と考えますが、国の政策を踏まえ市はどのように考えているのか伺います。

○都市整備部長

デマンド交通の導入には、車両や運転手の確保が必要で、公費負担率が高くなることが予想されます。切り替えた場合に路線バスの衰退を招き、地域住民が望む形にならない場合もあり、慎重な検討が必要であると考えます。

このほか

○（仮称）かすかべひがし交流センターは市民の声を聞き、願いに沿ったものに

リサイクルショップは 利用者・当事者の 要望を最優先に



木下三枝子
議員

リサイクルショップを含む
心身障害者通所支援施設個別
施設計画は、移転予定地の測
量・調査や旧庄和保健センタ
ー解体工事および新施設の設
計の業務委託などが進行して
いる現状です。

しかし、計画時から利用者の
懸念であった通所に必要な
支援については、指定管理者
と市が協議中とのことでした。
移転の計画案について、事前
の相談もなく送迎も未定で当
事者との懇談会でも反対や不
安の声が現在も出されています。
当事者の要望は「私たちの
ことを私たち抜きで決めな
い」ということに尽きます。

市は一度立ち止まって当事
者の皆さんと計画を見直し、
移転ありきではなく、リサイ
クルショップは現在の場所での
存続を求めますが、市長の
考えを伺います。

○市長

将来にわたり持続的に福祉

春日部市の 治水対策について



鬼丸 裕史
議員

施設を含む公共施設の管理を
行っていくためには春日部市
公共施設マネジメント基本計
画に基づき適正に施策を進め
ることが基本です。心身障害
者通所支援施設の適正配置に
関する本計画ですが、すでに
実施した市民意見提出手続、
さらには利用者への面談など、
社会情勢や利用者などの状況
の変化を的確に捉え、今後も
利用者の状況に寄り添うこと
で、福祉サービスの向上が図
られていくと考えています。

このほか

○住宅リフォーム助成制度の
充実と市内事業者支援を

近年の気候変動の影響を受
けて、全国各地で毎年多雨に
よる甚大な被害が発生してい
ます。また、埼玉県内でも、
7月10日に各地で積乱雲が発
生・発達し、非常に激しい雨
が降り、記録的短時間大雨情
報が県内各所で12回も発表さ
れました。本市でも同様なこ

とが起るかもしれません。

そこで、以下伺います。

①これまで本市が実施してき
た治水対策の根幹である10
0ミリ安心プランの現状につ
いて。②「中川・綾瀬川緊急
流域治水プロジェクト」の概
要について。

○建設部長

①今年度は、雨水管渠施設かんきょの
整備として、大沼グラウンド
から大沼第2公園までの延長
約300メートルの区間に最
大で縦90センチメートル、横
90センチメートルの管渠かんきょを整
備しています。また、雨水貯
留施設の整備として、谷原グ
ラウンド内に縦約65メートル、
横約23メートル、高さ約1・
2メートル、貯留量約170
0立方メートルの地下貯留施
設を整備し、今年度末には完
了見込みとなっています。

このほか

○春日部市の地域公共交通に
ついて

マンホール蓋の 活用について



平沢 一博
議員

マンホール蓋はインフラ設
備としての役割にとどまらず、
観光資源や地域ブランド、企
業広告としても活用されるな
ど、新たな価値が創出されて
います。所沢市では、平成30
年からマンホール蓋広告事業
を実施し、広告収入を下水道
事業の財源確保につなげてい
ます。

そこで、以下伺います。

①マンホール蓋を活用した広
告事業導入について、本市の
見解を伺います。②デザイン
マンホールは、まち全体のイ
メージアップにもつながるも
のと考えます。企業広告とし
ての活用、観光振興を目的と
したデザインマンホールの設
置を含め、今後、マンホール
蓋をどのように活用していく
のか伺います。

○上下水道部長

①自治体側は下水道事業のイ
メージアップや広告収入によ
る自主財源の確保などの効果

が期待され、また、事業者に
おいても、公共空間に広告の
設置が可能となることから、
企業のイメージアップといっ
たブランディング効果が期待
されるなど、自治体と民間事
業者の双方にとってメリット
がある事業と認識しています。

このほか

○高校受験における進路指導
について

○道路交通法の一部改正につ
いて



春日部市型マンホール鉄蓋